



**第37号**  
 一発行一  
 一般財団法人  
**石川県剣道連盟**  
 〒920-0811  
 金沢市小坂町西 57-3 KSハイツ205号室  
 TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341  
 E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp  
 URL www.ishikawa-kendo.com

剣道界の動向から



副会長 末平 佑二

全日本剣道連盟では平成24年の設立60周年を経て、今年度は63年目の歴史を刻みながら、年度当初に設定された目標に沿って各事業が進められております。

過去2年間の常任理事と現在の社会体育指導員委員会委員長を拝命している経験から、ここ数年の剣道界の流れについて一部述べさせていただきます。

一 少子高齢化時代の中で  
 毎年、全剣連の機関紙「剣窓」の2月号に前年度の剣道初段の取得者数が掲載されます。ここ数年の推移を見ると、平成22年に4万人を下回り、24年には4万人を回復したものの、再び25年から下回る状況が続いています。少子化の波もありますが、現時点では4万人を普及のバロメーターと捉え、関係者一丸となって少年剣道から生涯剣道につながる取組が求めら

れています。

一方、生涯剣道の開花期でもある高齢者剣道ですが、本県では平成22年に全国健康福祉祭剣道交流大会（ねんりんピック）が開催されました。終了後も継続されている月例の稽古会は全国にも誇れる大会の遺産と考えています。この大会と毎年6月に日本武道館で開催されている全国高齢者武道大会の二つの大会を現在全剣連が後援で支えています。

二 女子剣道の活発化

近年、六段七段の高段位を目指す女性剣士が増えています。各都道府県でも女性だけの稽古会や研修会も実施されるようになりました。全剣連では女性の審判研修会を十年前から実施し、二年前から女子選手権と都道府県対抗においては、審判長・審判主任を除いてすべて女性審判員で大会が実施されるようになりました。女性対象の指導法研修会も今年度から新たに実施されます。社会体育講習会でも二十年が経過しましたが、最初の十年は9%であった女性の参加率が近年は20%超となっております。女性のきめ細かい指導が少年

特集記事

- 2頁「県実業団剣道連盟の現状」  
 評議員 吉村嘉綱
- 3頁「県道場連盟の現状」  
 理事 下崎良智
- 6頁「剣道授業レポート」  
 宝達中 中西優登

剣道の指導で活かされ剣道人口の増加につながることに期待されています。

三 剣道の国際的普及

全剣連では国際化という表現は使わず、武道の伝統を失わないで世界に普及を図っていくのが基本的な考えとなっております。



5月末には日本武道館で第16回世界選手権大会が56の国と地域の参加で行われました。45年前の第1回大会では17か国・地域の参加でしたから、その三倍を超える規模の大会となりました。

監督席には現在日本で活躍されている方や日系の方の姿も見られ、その架け橋となる熱意と全剣連の海外派遣等の普及事業が着実に実を結んでいると感じました。

四 中学校武道必修化

平成18年に教育基本法改正、20年に学習指導要領が改訂され、24

年から全国すべての中学校で武道が実施されるようになって4年目に入っています。武道は専門性が高く、指導者の養成や確保が大きな課題となっている中、全剣連では日本武道館と共催で22年度から実施している国庫補助の指導者研修会、更には文科省の委託事業として25年度から授業協力者養成事業が行われています。

そこには「安全で、より効果的な剣道授業」の準備がいつでもできているという姿勢が示されています。

五 国体監督の公認スポーツ指導者資格と社会体育指導員

平成28年の岩手国体からすべての競技において監督の日本体育協会の公認スポーツ指導者資格が正式に義務づけられました。現在、国体の監督資格取得講習会という目的で受講される方も多くなっている社会体育ですが、スタートからの趣旨は「地域社会の核となる指導者の養成」です。

剣道の実力と指導力を併せ持つ、一つ高いレベルの指導者養成が第一義であることを再度ご理解願えば幸いです。



## 特集

## 石川県実業団剣道連盟

## の現状と課題



評議員 吉村 嘉綱

実業団発足のきっかけは、一昨年、剣道連盟の山下会長から「石川県で実業団ができないだろうか。」とのお話を頂いたことにあります。

富山県や福井県の隣県において実業団剣道は、実業人による自主的かつ伝統ある活動として根付いておられます。一方、石川県では永らく活動が途絶えており、勤労者大会等で実業人剣道家が多く活躍されており、一部の企業を除くと、企業などを単位としたチームは以前と比べ減少してきているようにも思われます。このような状況下で、いきなり実業団を立ち上げるには難があるように思われました。

しかし、行動を起こさなければ前には進めないことから、多くの方のご理解とご協力の下、声を

掛けできるところから声をお掛けして、昨年の七月にご賛同頂けた約五十名の方にお集まり頂き、合同稽古会を実施いたしました。

更に、この合同稽古に参加頂いた方が中心となり実業団の幹事会を結成し、実業団剣道大会開催の準備を行ってまいりました。この際、剣道連盟の山下会長、南副会長など、多くの方のご指導とご支援を頂き、母体となる実業団の理事会組織や会の在り様を固め、何とか第一回大会の開催までたどり着くことができました。

第一回大会は、剣道連盟の山下会長を大会長にお迎えし、剣道連盟の絶大なるご後援の下に、今年八月一日に北陸電力石川体育館で企業から十三社、官公署から一箇所（団体戦は九団体十六チーム、個人戦は四十一人）の出場を受けて開催いたしました。結果は剣道連盟のホームページに掲載させて頂いた通りであります。ご閲覧して頂ければと思います。

さて、今大会の開催で特に苦心した点は、事前のPRが不足していたこともあり、企業等での組織的な活動をされている剣道部

がなかなか見出せなかったことでもあります。従って、大会実施の目標を立てることも大変でありました。

個人で熱心に剣道に取り組まれている方は多くおいでになるものの、企業単位での活動には課題があることを改めて感じたところでもあります。

この課題に対処できる即効策はなかなか見あたりませんが、当実業団の目的である「社会人剣道の興隆、産業人による自主的な実業団活動の醸成および会員相互の親睦」を念頭に置き、次のことを地道に取り組んでいくことにより、必ずや乗り越えられるものと考えております。

- ①大会の継続実施
- ②大会等の自主運営を通じた連帯感の高揚
- ③参加勧誘活動の継続
- ④関連する企業や同業種単位等でのチーム編成の推奨

特に、参加者の自主運営活動が実業団活動を根付かせる力となるものと思っております。

従って、今大会の開催においても、参加者による自主運営による

ものといったしました。しかし、実際に大会を運営してみると、幾つかの問題点もありました。

例えば、審判は剣道連盟の先生に加え参加者による審判員を多くお願いしましたが、参加者による審判は対戦状況や試合順の関係で制約があり、特に剣道連盟からの審判員の方に負担が偏り、配慮が不足していたと大いに反省しております。

これ以外にも問題点が幾つかありましたが、一つ一つを実業団の皆さんで協力し、工夫を重ね、改善していきたいと思っております。また、このような取り組みこそが実業団の成長の糧にもなるものと考えております。

当実業団はまだ生まれたてで、運営そのものもおぼつかない状況ではあります。社会人剣道の発展に少しでも寄与できるよう、隣県の実業団に追いつけるよう努めてまいりますので、どうか剣道連盟および諸先生方のご指導・ご鞭撻を今後とも宜しくお願いいたします。

## 特集

石川県剣道道場連盟  
の現状と課題

理事 下崎 良智

石川県剣道道場連盟が再結成して六年目となりました。私が内灘町で長く少年剣道の指導に携わってきた関係から、県剣道道場連盟の再結成に関わりました。末平佑二範士のご助力をいただき、隣県の組織や運営を参考にして会則素案をつくることから始まりまし

た。平成22年5月30日、全日本剣道道場連盟事務局長 故宮澤美一先生のご臨席をいただき第一回石川県剣道錬成大会を十六団体（以下道場）の加盟を得てスタートしました。

道場連盟の目的は剣道の発展と健全なる青少年の育成に有り、全国47都道府県二、一三三道場が、うち石川県では20道場が加盟しています。県における幼少年剣道の中心的な役割を果たせる団体になろうと活動を開始しましたが、加盟が全県に広がっていないのが現状です。道場連盟の活動にご理解・

協力いただき、課題を解決しながら、幼少年剣道の発展に寄与できる団体となるよう運営に努めてまいります。

## 一 道場連盟年間事業

5月 県道場少年剣道大会  
7月 全国道場剣道大会

9月 県剣道少年団研修会  
（体験発表原稿募集）

10月 全国道場対抗剣道大会・  
全国道場少年剣道選手権大会

12月 中部地区剣道少年団研修会  
1月 北陸三県剣道錬成大会

2月 日本剣道少年団研修会

この他、選抜少年剣道合宿・指導者修会・稽古会・毎日レディー  
ス剣道大会・剣道少年団表彰事業は剣技の向上や優劣を競う大会ばかりでなく、少年少女剣士が心身ともに豊かに成長することを目指しています。

また、幼少年剣士を指導する指導者の資質の向上を図る事業も行われています。

## 二 石川県の加盟状況

単独道場13、市町合併道場6、その他1、休会4です。毎年加盟

継続している道場がありますが、一方、少年剣士数の減少で休会する道場があり、停滞状況にあります。私が指導している教室でも子ども数が減少し10人未満となっています。しかし、町武道館として加盟することで、会費の負担を軽くし子ども達に貴重な錬成の機会を提供できています。やはり、子ども数の減少は道場運営・継続していくうえで深刻な問題です。それが、加盟に踏み切れない原因の一つであると思われます。

## 三 課題と対応

長年、幼少年の指導に携わってきて思うことが三つほどあります。

一つ目は、「どうして」と思うことが多くなつたような気がします。挨拶、帯刀・構えなど、どうしても身につけなければいけない基本的なことがなかなか身につけません。幼少年を取り巻く社会・生活環境の変化によって運動適応力の衰退があると思われます。また、家庭でのゲーム機、学校での視聴覚教材の多用により想像力が低下し、「〜ごっこ」や創造して

遊ぶことが少なくなっていることは、剣道における大事な『まねる』動作の修練（守）に影響を及ぼしています。何となく取り組んでいるので、できていたことが、次の稽古にはできないことが多いのです。当世幼少年気質の理解と指導の工夫、個性や褒める指導をどこまで取り入れていくかです。

二つ目は、先にも挙げましたが、幼少年剣士数の減少です。ひいては石川の剣道衰退にも影響する大きな問題です。少子化、他競技との競合や運動志向の低下などがあり、たやすく解決できる課題ではありませんが、保護者会と協力してチラシの配布や掲示、勧誘を地道に続けていく必要があります。

三つ目は保護者会との良好な関係作りです。剣道の指導に専念するには、当世保護者気質を理解し、柔軟に対応し協力願う必要があります。

石川の剣道の土台となる幼少年のすそ野を広げることが、道場連盟の役割です。何よりも重要なことは指導者の柔軟な姿勢と態度にあると思います。

# 剣客往未

インタビュー



(二財)石川県剣道連盟副会長  
JR西日本株金沢支社  
調査役 南 信廣

北陸新幹線開業以来、天皇皇后両陛下のご来県など関連業務に多忙な毎日を送っておられる南副会長にインタビューいたしました。

問…長く警察にお勤めになつてい  
たわけですが、警察機構とJR(民間会社)との大きな相違は何かございますか。  
南…もちろんJRは民間の営利企業です。一方で、警察は国民の安全・安心の確保を任務としており、JRも鉄道輸送の安全を使命としており、どちらも「安全」というキーワードは同じです。また、JRは国鉄(日本国有鉄道)から民間営化されたもので、民間会社とはいえ元々は国の機関であつたため、警察とは組織文化が似ておりますし、私は警察に入る以前は、民間の(株)東芝に勤務していた経験もあり、殆ど違和感なく勤務させていたでいております。

問…今年は特にお仕事も多忙だったのではないのでしょうか。  
南…3月には、悲願の北陸新幹線が開業し、併せて在来線の経営分離など北陸の鉄道ネットワークが大きく変革した年でもありました。加えて二度にわたる天皇皇后両陛下お召し列車行幸啓(5月:全国植樹祭(石川)、10月:全国豊かな海づくり大会(富山))もあり、警備面でも大変忙しい年でしたが、いずれも無事に乗り切ることができ、各県警を始め関係機関の皆様との絶大なご協力に深く感謝しているところでです。

問…仕事と剣道の両立、まさに「文武両道の実践」を行っていると思いますが、その秘訣あるいは心掛けていることは何でしょうか。  
南…会議や出張、訓練、諸行事等で稽古時間がなかなか取れにくかつたのは事実です。しかし、そんな時でも稽古の場所や時間をやりくりし、例えば20分間であっても稽古に参加するようにはしています。逆に短時間で集中力が高まればと割り切っています。

問…仕事や人生の上で、剣道が役に立っていると思うことは何かございますか。  
南…北陸エリア内を毎日結構めまぐるしく動いています。日頃の稽古の積み重ねにより体力的には

同年齢の人と比較しても元気な方じゃないかと思えます。また、いろいろな場面で剣道が話題となり、そこで新たな人の繋がりがも出てきており、これらは正に剣道のお陰だと思えます。



問…剣道修行から得た教訓などがありましたら何か挙げて下さい。  
南…会社では、「苦しいときや辛いとき、仕事の境界等で揉めるとき、半歩前に出るよう」と、話しています。これが結構社員の中に響くようです。剣道で、強くなったりされた際に、退いては当然ですがその場で踏ん張っていたとしても簡単に押し飛ばされてしまいます。しかし、わずか半歩前に出ることによってしっかりと受け止めることができ、次への対応が可能となります。これらは、剣

道から体感していることで話にも説得力があるのかなと思っております。

問…剣道修行に関して若い方々へ、何かアドバイスをお願いします。  
南…世の中の情勢は刻々変化し、人間の環境も毎日多少なりとも変わっていきまますので、その時その時の立場や境遇等により、剣道に近づいたり離れたたりする場合がありますとは思いますが。そうした場合でも、剣道を自分の「軸足」あるいは心の拠り所にして是非とも続けていって欲しいですね。剣道には素晴らしい特性がいろいろありますので、自分の修行の場としても剣道を送るならば、必ずや充実した人生を送れるのではないのでしょうか。

問…ご自身の剣道修行における目標について、お聞かせください。  
南…本年5月の全日本剣道演武大会で、百歳の剣士が京都・武徳殿に立たれ、観客はその立ち合いを息を呑んで見守つたという記事を拝見しました。正に「生涯剣道」ここにありです。剣道はいくつになっても向上する、と言われております。現に日々の稽古を通じて先生方からのご指摘ご指導で初めて気付くことも沢山あります。生涯剣道を目指して、元気で楽しく一生続けていきたいと思えます。

全剣連剣道講習会(形)



事務局長 倉 久廣

本県剣道連盟は、二年前から県連主催・後援の大会で「日本剣道形」の演武を実施してきているところであります。

今回は、全剣連から中田秀士範士を講師として派遣していただき、本県剣道審査員及び地域で剣道指導に当たっている69名が受講いたしました。

中田講師から、最初に「日本剣道形の意義」「剣道形の目的」「日



本剣道形の制定」について講義がありました。

その後の実技指導では、先ず立会前後の作法、立会の所作、刀の取り扱い、五つの構えから始まり太刀の形一本目から要点を説明しながら、特に打突部位を確実に打突しているか等に留意するよう指導があり、受講生は反復練習を繰り返しました。

講師から時に、厳しい言葉の指導もありましたが、受講生には真剣に取り組んでいただきました。

最後に中田講師には講習時間を超えるほど熱心にご指導いただき、講習会終了後には指導稽古まで賜り厚くお礼申し上げます。

社会体育指導員(初級)養成講習会



理事 坂下 弘

10月23日から三日間、福井県立武道館を会場に行われた表記の講習会を受講させていただきました。

この講習会は剣道の「指導者の資質の向上・普及発展・知識、能

力を備えた指導者の育成」を目的としており、受講資格は各剣連登録会員で三段以上・22歳以上の剣道愛好家を対象としております。

105回目の本講習会には地元福井県をはじめ遠くは徳島・茨城両県から20歳代〜60歳代の56名(平均年齢40歳)が参加されましたが、定年後の目標の一つとして私自身以前から「機会があれば、剣道全体を見つめてみたい」と思っていたので、挑戦した次第であります。

講習は一コマ45分単位のカリキュラムに沿って行われ、受付直後の「事前テスト」に始まり、「日本剣道形」「基本指導」「審判技術指導」等の実技から、「剣道の歴史や特性」「剣道指導の心得」「安全・衛生管理」「病気や怪我に対する対処」等の座学まで幅広く行われ、最後に「理論」「基本実技」「剣道形」のテストで全日程を終えました。

短期間に全てが身に付くものでは有りませんが、修業が大切な時期に剣道から離れていた私にとって、この講習を受けたことにより剣道の基本的なことを見つける機会を得、これまで「点」

であった剣道観念を「線」に繋げることができたように思います。

また、本講習会には全国的に名立たる範士六名の先生方が中心となって講師となり、講義のほかこの先生方による指導稽古も毎日行われ、滅多にない機会に「掛かる稽古」をお願いできたことも大いに勉強となりました。全剣連社会体育委員会の委員長である当県の末平佑二範士が中心となって運営に当たっておられた姿を拝見することができたことにも誇らしさを感じ、石川県は剣道を修業するには良い環境にあると思った講習会でした。

平成七年から始った講習会で初級有資格者は、全国で約八、五〇〇名となっています。あらゆる角度から剣道を学びたいと思われる方には是非受講をお勧めします。



## 剣道授業レポート



宝達志水町立  
宝達中学校  
教諭中西 優登

十一月六日、本校武道館において全剣連普及委員会学校教育部会百鬼史訓委員長をお招きし「剣道授業協力者資質向上事業公開研究授業」が行われました。

本校では一年生の剣道の授業で、判定試合を学習のゴールに設定し、木刀や竹刀を使って基本動作や礼法などを学習しています。基本動作については、ゲームの要素を取り入れながら竹刀操作や足さばきなどを中心に学習し、礼法や所作事については、生徒が興味関心をもつよう剣道の歴史などに触れながら授業を進めます。また授業協力者として北川信之先生にご協力頂き、より専門的なアドバイスをして頂けるようにしています。

今回の授業では「メンをスムーズに打つための手と足のタイミングを考えよう」という課題で学習

に取り組みました。

かかり手が元立ちの竹刀を打つ際、振りかぶり動作と振り下ろし動作、右足を前に出す動作と左足を引きつける動作をどのようなタイミングで行うとスムーズにできるのかを考えました。生徒たちはグループでの学び合い活動を経て、手と足のタイミングを合わせるコツを考え出すことができました。その結果、多くの生徒が手と足の動きの合ったスムーズなメン打ちができるようになりました。

授業後に行われた授業整理会及



び研究協議会では、指導の留意点や改善点についてたくさんのご示唆を頂きました。

今回の授業では振りかぶり動作と振り下ろし動作、右足を前に出す動作と左足を引きつける動作のタイミングを合わせるために音楽をかけ、リズムに合わせて打突動作を行う活動を取り入れました。生徒はリズムに合わせて楽しく運動に取り組むことができ、全員の動作がピタッとそろった心地よさを感じることができました。また、音楽がかかっていることで生徒は安心して恥ずかしがらずに大きな



声を出すことができました。

その一方で、楽しさ重視の授業、剣道の本質とかけはなれた実践を危惧する意見もありました。楽しさを追求するあまり、正しい打突動作を身につけられない、足さばきがおろそかになってしまふ、といったご助言を頂きました。また、元立ちの受け方の指導が不十分な場合、ケガにつながる危険性があることもあげられ、指導方法の再考の必要性を感じました。

平成二十四年度より武道が必修化された経緯から、武道の授業では他の運動にはない武道の特性を確実に指導する必要があります。礼法や所作事、伝統的な考え方など内容は多岐にわたります。それらを正しく指導するには、剣道の専門家による指導が効果的です。授業協力者の在り方も含め、今回の公開研究授業が剣道授業を見直す一つの機会となり、今後県内の中学校で剣道の授業が普及発展していくための一助となればと思います。山下和廣県連会長、田畑武正先生はじめ、ご助言くださった先生方に感謝申し上げます。まことにありがとうございます。

## 剣道と世阿弥



七尾市  
吉田 隆

能と剣道には相通じる所が沢山あると思われる。能は2001年にユネスコによって「世界無形遺産」の第一号に指定されている。と言っても、私はテレビは見ても、能楽堂に足を運んだことがない。私にとって能は、世阿弥が書き残した『風姿花伝』の中の言葉ではない。

その一つに『幽玄の風体第一とせり』という言葉がある。もう十年ほど前だろうか、NHKで八段審査に臨む剣道家の番組があった。その時の稽古相手が高齢の先生で、立ち姿が何とも言えない空気があったのを覚えている。例えば、国宝の救世観音、あるいは百済観音のようにスッと立っている。これが世阿弥の言う、幽玄の美しさではないかと想像する。芸術の中の、能の最も誇れる部分だ、この剣道の中にもある。能は身体芸術であるとも、世阿弥は言う。剣道も同じではないか。剣聖持田盛二先生の「剣道の基礎を

体で覚えるのに五十年かかった。五十を過ぎてから本当の修行に入らなければならない。……」七十、八十と続くが、世阿弥も能役者として人生を七段階に分けて考えている。

年と共に衰えるものがある。しかし喪失しながら、それと引き換えに、何か新しいものを獲得するための試練があると。生涯剣道の意味もここにあると思う。

実は、この花伝書も私の師が数年前、稽古の後に「読んだか？」と聞かれ、美術学生の時に買ってページをめくった覚えがある程度と答えた。改めて読み返し、師の意図を理解した。師には一から剣道の指導を受けていますが、基本的な事から細かな注意点まで教えていただき、剣道を通して色々と気付かせていただいています。

最後に私の師、田畑武正先生はじめ稽古をつけていただいた先生方お一人お一人に感謝申し上げます。これからもご指導をお願いいたします。『初心忘るべからず』これも世阿弥の言葉である。

## 剣道六段に合格して



宝達志水町  
川崎 徹

この度、愛知県で行われた剣道六段審査会において、三度目の挑戦にて合格させていただきました。

私自身が中央審査で合格することは、並大抵のことではできないと思っていたのですが、剣道を今より上達したいという思いや学生時代の同級生、先輩、後輩、そして宝達会で稽古されている皆さんが次々と昇段していく姿を見て、私にも「できる」と一念発起し、受験するに至った訳です。

先生方から指摘を受け克服しなければならぬ課題は、山積しておりました。中でも最重要課題と位置付けたのは、自身の学生剣道からの脱却です。それは、身体能力と無駄打ちである手数を頼りに理合をおろそかにする剣道です。その他の技術面では、面打ちが刺し面になっており打ちが軽い、右手が固く肩に力味があり打ちに冴えがない、構えが安定していないことに起因する打突時のフォーム改造を行う必要があります。

た。

しかし、課題克服に対する取り組みは、今までの自分の剣道を改めて見つめ直す非常に有意義な時間でありました。面を付けて数多く稽古を積むのが王道だと思いますが、私の普段の稽古は、週一回一時間程度のため、限られた中で考え工夫しました。稽古では、一週間の自主練習の成果を確認する場としました。悪い癖を直すには、正しい動作をひたすら繰り返し体にたたき込むしかないと考え、出来る限り毎日、姿勢の前で四方向の構えのチェック、素振り、筋トレ、家の廊下でのすり足や打突練習（床・天井の破損に注意）を行いました。また、剣道以外の長距離走からのアプローチも試みました。目的は、腕振りによる肩甲骨まわりの柔軟性向上と面を打つ際の左手の軌道確認、地面を蹴り出す際の湧泉の引っかかり具合の確認です。審査会の立会では、気迫と先を掛けた攻めからの打突を発現するのみです。今回の合格は、私一人で成し得たものではありません。田畑先生、近藤先生、北川先生をはじめとする諸先生方、稽古をつけていただいた皆様、深くお礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願います。

# 【全国大会等の記録】

(8~12月)

## ◎全国高校定通体育大会(剣道)

8月3日(月) 日本武道館

▽女子個人 3位 吉田 由希(羽松)

準々決勝 吉田コー 田村(福岡)

準決勝 吉田 コー鶴賀(東京)

## ◎全国高校総体(インターハイ)

8月3~6日 和歌山ビッグホエール

▽男子団体 予選リーグ 1位

羽 昨 2-2 洛陽工(京都)

羽 昨 ③-1 佐野日大(栃木)

▽決勝1回戦羽昨0-②鹿児島実業

▽女子団体 予選リーグ 3位

北海道栄③-0金 沢

桐蔭学園④-1金 沢

## ▽男子個人

▽1回戦 下池(羽昨) 炒-山代(鳥取西)

▽2回戦 下池(羽昨) 反-深田(大分舞鶴)

喜多(羽昨) メー藤田(山口新南陽)

▽3回戦 下池(羽昨)-コ福居(水戸葵陵)

喜多(羽昨) メーメ野稻(高輪)

## ▽女子個人

▽1回戦 高木(桜丘) 灼-中野(大分)

▽2回戦 西村(桜丘) メー荒井(秋田商)

高木(桜丘) メー矢野(明德義塾)

▽3回戦 西村(桜丘)-ト嶋田(本庄第一)

高木(桜丘) -メ下宮(広島皆実)

## ◎第36回北信越中学校剣道大会

8月7日(金) 福井県立武道館

▽男子団体 3位 宇ノ氣中

▽準決勝 宇ノ氣2-③山室中

▽女子団体 2位 羽昨中

▽決勝 羽昨中1-③燕中

▽女子個人 3位 中生吹(星稜中)

▽準決勝 中-メ堤腰(福井松陵中)

## ◎第56回全国教職員剣道大会

8月9日(日) 京都ハンナリーズアリーナ

▽団体2回戦 石川1-②福島

▽個人 高・大・教委2回戦

原田(石川) トコ有田(茨城)

▽幼・義務教育1回戦

鶴城(石川) -メ白丸(長崎)

▽女子1回戦

澤田(石川) -コ金田(出石手)

## ◎第45回全国中学校剣道大会

8月22~24日 秋田市体育館

▽男子団体 予選リーグ2位

中能登③-①東部(愛知)

中能登0-④九州学院

▽女子団体 予選リーグ1位

宇ノ氣③-0郡山ザベリオ

宇ノ氣②-①東部(大分)

▽決勝1回戦

宇ノ氣0-①西和(和歌山)

## ▽男子個人

1回戦 指本(宇ノ氣) -メ依田(山梨玉穂)

2回戦 西川(津幡) -コ坂本(山梨玉穂)

## ▽女子個人

1回戦 横山(宇ノ氣) -コ沼田(秋田大附)

中(星稜) -メ駒田(茨城阿見)

## ◎第36回北信越国体剣道大会

8月23日(日) 富山市総合体育館

▽少年男子 1勝3敗 4位 石川

▽少年女子 3勝1敗 2位 石川

▽成年女子 4敗 5位 石川

## ◎第54回全日本女子選手権大会

9月13日(日) 兵庫県立武道館

1回戦 藤田 -コ 藤本(京都)

## ◎第9回全日本都道府県対抗少年

9月20日(日) 大阪市舞洲アリーナ

▽小学生の部 石川1-③広島

石川0-①青森

石川0-0山口

石川1-③茨城

## ◎第69回国民体育大会

10月3~5日 和歌山県那智勝浦

▽成年男子1回戦 石川0-⑤山形

先 藤井 -コ石田

次 篠井 -メ鈴木

中 米山 -川川木

副 山田 -コ中原

大 宇波 -コ三條

## ◎第26回全国健康福祉祭剣道

10月18~20日 山口県防府市

▽予選 石川①-①さいたま市

石川1-②京都府

## ◎第50回全日本居合道大会

10月17日(土) アクシオン福岡

▽五段1回戦 北川③-0阿部(宮城)

2回戦 北川1-②重藤(愛媛)

▽六段2回戦 山口0-③原田(神奈川)

▽七段1回戦 松原0-③井上(福島)

## ◎第62回全日本剣道選手権大会

11月3日 日本武道館

1回戦 篠井メー 笠原(三重)

2回戦 篠井メー 鹿野(山梨)

3回戦 篠井 -ト正代(東京)

## 中央審査会合格者

### ◎剣道▽七段

山田 義徳 米山 友博

東 秀夫 白尾 隆次

▽六段 吉田 皓太

上登 喜文 内田健太郎

菊井 武晴 川崎 徹

▽教士 河合 峰嘉

谷口 智 上原 智光

▽錬士 稲元 国道

▽居合道▽六段 作田 剛也

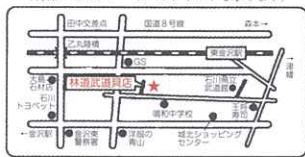
▽錬士 望月 隆

# 林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83  
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240  
HP <http://www.rindoubudougu.jp/>  
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】  
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般  
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



## 武道具の ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233  
〒921-8065 FAX 249-9139